

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月30日

施設名 苦小牧市高齢者福祉センター
 指定管理者名 公益社団法人苦小牧市シルバー人材センター
 所管課名 福祉部 総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画どおり適切に管理運営を行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	各教室やセンター祭の様様を動画配信したり、行事案内ポスター、施設案内リーフレットなどを作成し、利用促進と広報活動に努めましたが、利用者数の目標達成には至りませんでした。	A・Ⓑ・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	当初計画より1増の17事業を実施しました。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	子育て支援センターとの世代間交流や花壇づくりなど協同で事業実施しました。	A・Ⓑ・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケート調査により、大変高い満足度の回答をいただきました。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	意見箱の設置やアンケート調査で意見・要望等の把握に努めております。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	寄せられた意見・要望については、改善が可能なものから順次対応しております。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	修繕はできる限り職員が行うなど経費削減に努めました。また、教育・福祉センター全館での取り組みについても、連絡会議等で要請をしております。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最	予算作成時に参考見積を取り、委託選定時には見積もり合わせを行い、適切	Ⓐ・B・C・D・E

小となるような取組はされているか。	に取り組んでおります。	
収入増加のための取組はされているか。		A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	外部講師によるコミュニケーション研修の実施や運営方針、サービス向上についての職員会議を実施しました。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	自衛消防訓練や地震・津波避難訓練、AED 講習を実施するなど、職員全体で事故防止に向けて適切に対応しております。	Ⓐ・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正な人員配置及び管理体制に努めております。	Ⓐ・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	施設の条例・施行規則等により、利用者の平等な利用となるよう対応しております。	Ⓐ・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報保護の観点から、徹底した管理をしております。	Ⓐ・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	（公社）苫小牧市シルバー人材センター財務・事務規程に基づき、適正に処理しております。	Ⓐ・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	日常点検、定期点検により、適正な保守について適宜実施しております。	Ⓐ・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要書類は鍵の掛かるキャビネットで施錠管理しており、備品については適宜チェックしております。	Ⓐ・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令等を遵守し、適正に管理しております。	Ⓐ・不適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全員地元雇用であり、全てに地域貢献できるよう努めております。	Ⓐ・B・C・D・E

A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B：目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

なし

指定管理者の自己評価(全体を通して)

必須事業であるセンター祭やふくろう演芸会、教室・講座など全て計画どおり開催しました。

自主事業は、健康ラジオ体操や健康フェスタ、子育て支援センターとの世代間交流や花壇づくり、フォークソングやマジックショー、餅つきなど計画より1増の17事業を実施しました。

利用者に安心して利用していただくために施設内の清掃や消毒、衛生確保のほか、建物周辺の花壇の整備や除草を行うなど環境整備に努めてまいりました。

接遇研修や職場内研修、自衛消防訓練を実施し、職員個々の能力を高め、利用者へのサービス向上に取り組みました。

利用者アンケート調査では、満足度(満足・やや満足)は97.9%となる高い評価をいただいております。ご意見等から和室にイス付きテーブルの設置など改善を行いました。

引き続き、利用者が楽しく、元気に、活き活きと安心して過ごしていただけるシニアライフ施設となるよう、利用者ニーズに応えながら、効率的な経費の縮減と市民サービス向上に向けて、全職員で取り組んでまいります。